

商工会報ながの

Vol. 71

(年4回発行)

令和7年1月31日発行

長野市商工会

〒381-2205

長野市青木島町大塚881-1

TEL 026-284-4556

FAX 026-285-3344

巳

令和7年（2025年）の干支は乙巳（きのとみ）です。十干十二支60通りの42番目で「物事が芽吹き、成長へと発展していく」という意味を持つ年とされています。本年が皆様にとって幸運が巻き付く1年であることを願います。



年頭の「ごあいさつ」 地域経済の活性化に向けて



長野市商工会 会長
西宮 登喜男

あけましておめでとうござい
ます。本年もよろしくお願い申し上
げます。

昨年は、3年間のコロナ禍を乗り
越えて様々な分野で社会経済活動が
再開し、経済はゆるやかな回復に向
かいました。しかしながら、原材料
価格の高騰、人出不足等の長期化、
デジタル化の進展といった課題が一
層複雑化しており、事業者の経営環
境は依然として厳しい状況にありま
す。

このような状況下で、当会では、
「すべては会員のために」を活動理
念とし、影響を受けている事業者を
下支えるため、資金繰り、設備投
資、経営環境の整備、労務等経営全
般にわたる相談支援に力を注いでき
ました。働き方改革や定額減税等の
税制改正の周知、小規模事業者持統
化補助金等各種補助金や助成金、金
融の斡旋など、国・県・市の様々な
支援メニューの情報提供や活用支援

を積極的に行ってまいりました。

また、「第2期商工会マスタープ
ラン」を踏まえ、経営発達支援計画
に基づいて、小規模事業者が自社の
特色や強みを活かして経営基盤の強
化に取り組んでいけるよう、事業計
画策定支援に取り組みました。人
口減少などの社会経済情勢の変化に
対応するため、長野市及び市内商工
団体と共同して、市内企業の生産性
向上を図るためにDX推進事業を進
め、個社伴走支援を実施してまい
りました。

地域経済の活性化を担う地域振興
事業については、各支部が祭りやイ
ベントを積極的に展開し、いずれの
催しも多くの人出で盛り上がりを見
せ、賑やかに開催できました。

県内の景気は、物価高騰の影響を
受けたコスト上昇が事業者の利益を
圧迫しており、注視が必要な状況が
続いています。今後も、影響を受け
る事業者への支援を行う商工会の役
割はますます大きくなっています。

当会としましては、「不易流行」
をモットーに、働き方改革、BCP
策定、事業承継、DX化、SDGs
推進等時代の流れを的確にとらえな
がら、事業者に丁寧な寄り添う支
援を行い、会員の皆様から信頼され
る商工会を目指してまいります。
最後に、皆様のご多幸とご健康を
祈念申し上げ、年頭のごあいさつと
いたします。

新春交流会

日時：令和7年1月18日（土）

場所：ホテルメトロポリタン長野

総勢200名を超えるご来賓・会員が集い盛会に
開催。アトラクションのタヒチアンダンスと
プチ物産展は大変好評をいただき、相互の親睦
を深めました。



西宮会長あいさつ



会場



タヒチアンダンス

新春交流会「プチ物産展」



(株)タカ商 (更北)



玉屋 (若穂)



(有)前角製作所 (若穂)



(株)キラリ信更 (西部)



物産展様子

「プチ物産展」出展者

支部	会社名
更北	(株)タカ商
若穂	玉屋
若穂	(有)前角製作所
西部	(株)キラリ信更

支部順・申し込み順

10/12

第30回 川中島古戦場まつりの開催



平成6年9月に「第1回古戦場フェスティバル（花火大会）」を開催し、令和2年にはコロナ禍により開催中止となりましたが、今回で30回を数えます。

第30回を記念し、川中島の戦いの犠牲になられた御霊の慰霊祭と、今後の事業展開を鑑みて上越・甲府両市との交流事業等を実施、また犀南地区のイベントを通じた広域連携等を踏まえ、「松代藩真田十万石まつり」との共催等新規事業を実施しました。

花火の協賛募集は、更北地区住民の皆様からの募金及び各種団体や企業の皆様から多くの協賛金を賜り、4台のミュージックスターメインや特大スターメインなどを含む前年を上回る6台増の108プログラム、約3、



花火

000発以上の花火を打ち上げることができました。

イベントにつぎましてもバンド演奏、広徳中学校吹奏楽、タヒチアンダンス、恒例の商工会青年部大ビンゴ大会、チャパフオーマンス、そして共催の真田十万石まつりからは木遣り松代会、真田子ども勝どき太鼓、松代甲冑隊にご出演いただく等多くの来場者に楽しんでいただくことができました。



真田勝開太鼓



吹奏楽

10/20

第3回 川中島フェスティバルが開催されました！



令和6年10月20日（日）に第3回川中島フェスティバルが開催されました。

ナーも好評で、昨年に続いて、地域おこし協力隊による農産物直売や更科農業高校生による桃やアングズのジャムなどの販売も人気でした。

3回目となる今年は、屋外イベントに「出張茶臼山動物園」を開設し、子どもたちに人気のふわふわも2基設置しました。当日は、急に冷え込み、肌寒い天気でしたが、昨年同様6,000名の来場がありました。屋内会場では、昨年に引き続き、川中島出身の「もう中学生」のトークイベントなども企画されました。会員等による出店コー



子どもに人気のふわふわ



出張茶臼山動物園
動き回ってかわいらしいアルマジロ

10/27

ひじり三千石 収穫祭



11/24

信更収穫祭



工業部会・商業部会

合同視察研修旅行



11月17日(日)～11月18日(月)に工業部会・商業部会合同視察研修旅行を実施し18名が参加しました。

視察先は福井県と石川県で、研修先は「永平寺」、「福井県立恐竜博物館」、「東尋坊」、「兼六園」などでした。恐竜博物館は、令和5年7月にリニューアルオープンをし、常設展示が大幅に変更されたこともあって、大勢の来館者で賑わっていました。

1泊2日と短い旅行ではありましたが、北陸の食文化や観光資源を肌で感じるとともに、参加者同士の交流も図ることができ、有意義な視察研修旅行となりました。



兼六園の雪吊り前にて



恐竜博物館の新館ホール

青年部

関東ブロック長野大会に

参加協力しました!

9月19日(木)～20日(金)に長野市芸術館において「関東ブロック商工会青年部連絡協議会令和6年度長野大会」が開催されました。11都県から1,100名を超える参加者が集まり、会場は熱気にあふれておりました。

長野市商工会青年部は運営スタッフとして場外誘導係を任せられました。当日は28名の部員が運営スタッフとして参加協力し、長野駅前周辺で参加者へ会場までの道案内等を行いました。当日の長野駅前は多くの参加者が行き交い、道順や周辺の飲食店について尋ねられたり写真撮影を求められました。



長野駅改札前にて



女性部

女性部視察研修会



令和6年11月14日に視察研修会を実施し27名が参加しました。木島平村のガラス工房にてトンボ玉作り体験を実施し、ガラスを溶かして好きな色やデザインのネットワークスやストラップなどを各々作製しました。昼食は野沢温泉村のハウスサンアントンにて創作料理を堪能しました。

天気にも恵まれ、部員同士の交流が深まり有意義な研修会となりました。



トンボ玉作製



有限会社サングリーン

本社 農薬事業部
〒389-1102 長野市豊野町大倉1994番地6
TEL・FAX 026-257-3304

当社は昭和45年に先代会長が農薬販売業を創業し、昭和60年に法人として設立されました。その後、建設業を統合し、有限会社サングリーンとして事業を拡大しました。農業が盛んな豊野地区において、果樹、水田、野菜など多様な農作物に適した農薬の販売をしています。

近年の気候の著しい変化は多くの農家を悩ませておりますが、農業の技術や農薬なども日々進化しています。

当社では農業技術や農薬の適切な使い方について研究し、農家の皆様が高品質で多くの作物が収穫できるようサポートも行っております。この取り組みを通じて、地域の農業を支える存在であり続けたいと考えています。また、建設事業では、安全防護柵工事や法面保護工事など、地域住民の皆様が安心・安全・快適な生活を送れる環境づくりを支援しています。当社の理念は「技術を磨き心を磨く輝く人と緑をつくろう」です。この理念のもと、地域の皆様のお役に立つ企業として、技術の向上と人材育成に努め、地域とともに成長し、信頼され愛される会社を目指しています。これからも地域社会に貢献し続ける企業として努力を重ねてまいります。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



店舗外観



法面保護工事の様子



このまちに生きる



株式会社ながの地域福祉サービス 燦倶楽部中条

〒381-3203 長野市中条2429
TEL 026-267-3977

弊社は、平成27年に設立しました。中条に本社を置き、高齢者介護として安茂里の事業所を譲渡いただき、現在に至ります。安茂里では、ケアマネジャーの事業所、宅老所を2か所運営しており、令和2年に中条郵便局の目の前に看護小規模多機能型居宅介護事業を開始しました。私自身、結婚を機に妻の実家がある中条に移り住みました。中条に住んで20年になります。この間、中条の人口も毎年100名ずつ減る中、何とか中条の人口減少を止めたい。また、長野市や白馬からちょうど良い位置にある中条に住む人を増やしたい。という思いから新しい事業所を開所しました。

高齢者の一人暮らし又は夫婦での家庭が多い中、年齢と共に、自宅での生活の不安、また遠方にお住いの家族の心配が重なり、住み慣れた自宅、地域から離れる方も多くありました。中条で立ち上げた事業所は、自宅での生活支援を主に、訪問・通い・宿泊を同じスタッフにて。また、看護師による訪問看護も行えます。そのため、自宅で最期まで住み続けたい。を応援できる事業でもあります。

高齢になっても、病気になっても、住み慣れた自宅・地域で出来る役割がある生活を応援し、ご本人も安全。ご家族も安心。を提供してまいります。また、山間地域の職場としても、中条や近隣にお住いの方の協力もお願いできればと考えております。中条への移住にも、職場が近くにあることも応援できる一つとも考えております。

まだまだ、燦倶楽部中条は開所して5年。まだまだ対応についても未熟なところもあるかと存じますが、スタッフ一同、住み慣れた地域での生活をサポートいたします。今後共よろしく願いいたします。



利用者の散歩風景



事業所外観





えんご 合同会社縁互

更北支部

代表社員 伊東 大

〒381-2206
長野市青木島町綱島287-2
☎ 026-285-2636

令和4年10月に法人設立し、翌年令和5年4月より「宅老所縁互」を開所致しました。私たちの事業所は定員10名のこじんまりとしたデイサービスです。元々酒屋さんだったお宅を貸して頂き運営しております。普通の民家なので、玄関には段差、お部屋には敷居があり、入浴時の浴室も家庭風呂でバリアフリーではありませんが、やるぞ！と意気込まなくても生活リハビリとして段差を超えたり、浴槽をまたいだりと、普段の動きの中から知らず知らずのうちに体を動かしている事も多いです。小規模ならではの特徴として、利用者様やその家族との距離が近く、また少人数の為事業所としてのフットワークの軽さも保て、四季折々の外出等その日決めた事を即実行できるという利点があると思っております。

散歩はお天気がよければ大体出ており、利用者様個々に合った距離を歩いています。外出はその日の天気次第で四季折々色々な所へ出掛けています。天候不良で出掛ける事が出来なくても所内で軽体操や、下肢体操、生活リハビリを行い、制作活動や家事手伝い等、それぞれ得意な分野を發揮

してもらおうと、スタッフも考慮して作業の振り分けを行っております。

『縁互』の由来の様にお互いのご縁で繋がれたので、「あ〜今日も縁互に来てよかった」とご利用者様に思ってもらえる様、またこの地域で活動している一員として地域に根差し、地域の皆様ともご縁を頂いて繋がっていただければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



外観



外出した時の様子



株式会社 Re フレンズ

川中島支部

代表取締役 岡澤 敏文

〒381-2205
長野市青木島町大塚1561-15
☎ 026-213-7376
E-mail : info@re-friends.com

地元長野に根差し、地域に密着した大工として活動を始めてから、30年が過ぎました。2年前には、お客様のライフスタイルに応じた、新築・リノベーションを実現する「住まいのプロ」として法人化し、より優れた技術に特化し、充実したサービスの提供を目指してまいりました。これにより、幅広い建築に関わるご相談にお応えできる体制を整えています。

お客様のニーズに寄り添い、ご自宅はもちろん、マンションや店舗、商業施設の内装やお庭づくりまで幅広くプロが対応いたします。

また、事務所内にはネイルサロンを併設しており、リラックスした雰囲気の中で気軽にご相談いただける環境を整えておりま

す。お客様とのコミュニケーションを大切にし、じっくりとお話を伺うことで、より良い提案を実現します。

今後も地域に貢献し、お客様に信頼される事業所を目指してまいります。



事務所（ネイルサロン）外観





山口 輝文氏

株式会社戸隠そば山口屋 会長／
長野市商工会戸隠支部

株式会社戸隠そば山口屋：自家製粉した県産そばと山からの清水を使った職人手打ちのそばが評判。戸隠竹細工等の地域自慢の土産品も充実。

戸隠流忍術、戸隠の自然・
歴史・文化の伝承



一趣味について教えてください。

いわゆる“趣味”とは違うのですが、私には長年続けている地域に根ざした取り組みや地域の子どもに関わる活動がいくつかあります。今回はその一部についてお話しします。

どの活動でも、その中心にあるのは「生まれ育った戸隠の自然・歴史・文化を守り、持続的発展を目指したい」という思いです。それを実現するための取り組みの1つが戸隠（とがくれ）流忍術の保存活動です。自身も忍者として修行を重ねる一方で忍術や戸隠のことを広く理解してもらうための教室や講演活動も行っています。

もともと体を動かすことが好き

で、学生時代は合気道に熱中していた私にとって、武道の1つである忍術には惹かれるものがありました。また、体の使い方や心の持ち様も、合気道と共通する部分がありました。とはいえ、戸隠流忍術は古武道と呼ばれ、時代背景や地理的条件等に多大な影響を受けて誕生・確立した地域特有のものです。ですので、同じ武道でも合気道とは異なる要素や奥深さがあり、触れるたびに習得の難しさと醍醐味の両方が感じられます。

もう1つは「戸隠ほほんキャンプ場」の運営です。友人に廃業したロッジのその後を一任されたのを機に約5年前に始めました。現在、受け入れは学校や学年単位の団体に限らせてもらっていますし、今も手探り状態で試行錯誤している部分もあります。それでも、参加した子どもたちには、ツリーイング、ネイチャーゲーム、忍者教室を通じて、戸隠の豊かな自然・歴史・文化を学び、体感し、楽しみながら理解を深めてもらえていると思います。

—今後やってみたいことは？

家業の蕎麦店を昨年4月に息子に引き継いだので、以前に比べると自由に使える時間が増えました。ですので、これまで通り地域の子どもたちと関わる取り組みを継続しながら、戸隠観光協会や長野県そば商生活衛生同業組合の活動にももっと力を入れていきたいです。

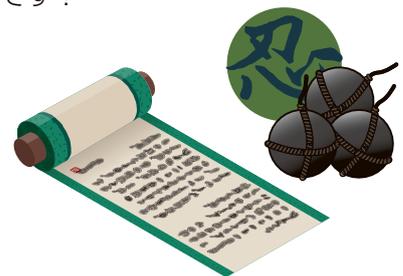
長い歴史を誇る戸隠流忍術を後世に伝え残すことや修験道として知られる戸隠古道の管理整備など、観光協会会長としてこの地を守るためにやりたいと思うこともやらねばならないことも山ほどあります。また、戸隠に限らず、食文化としての日本の蕎麦をもっともっと広めたい。国内外にファンを増やし、さらに発展させたい。そう考えています。そのために、これまで以上に積極的にア

ピールして、多くの人に興味を持ってもらえるように頑張りたいです。—超アクティブで多忙な山口さんの原動力は？

やはり、故郷への思いでしょうか。素晴らしい自然と歴史・文化を有する戸隠が永年在り続けることを強く願う気持ち、だと思えます。

また、子どもたちに忍術を教えたり、神楽などの伝統芸能の稽古をする中で、子どもたちの真剣に取り組む様子やはじけるような笑顔が見られると素直に嬉しいものです。かつての教え子たちが稽古を手伝いに来てくれた時などは、頼もしく成長した姿を誇らしく思うと同時に、「地道な活動が少しずつ、でも確実に実を結んでいるなあ」と、感慨深いものがあります。

ただし、こうした活動というのは膨大な時間と多大な労力を要するものです。すぐに結果や成果が出なくても焦らずにコツコツ取り組むことが大切なのかな、と。そして、私たちの努力がいずれ大きな実を結ぶことを前向きにイメージしつつ、私自身も楽しんで活動を続けた結果として少しでも地域に貢献できれば最高です！



山口 輝文氏

(やまぐち・てるふみ)

1956年長野市戸隠生まれ。妻、息子夫妻、孫2人との6人家族。多忙な日々の中で「焚き火は木や火のことがよくわかるので面白いんです。業務の一部ではあるけれど、癒しというカリラックスできる気がします」とのこと。

株式会社戸隠そば山口屋
所在地：長野市戸隠中社 3423
TEL：026-254-2351

※冬期は営業時間等が異なるため
ホームページで最新情報の確認を
<https://www.togakushisoba.com/>

長野税務署管内青色申告会連合会 からのお知らせ

○確定申告書作成指導

ー令和6年度青色相談コーナー日程表ー

会 場	相談コーナー開設日
長野市商工会	2月26日 3月3日 3月7日 3月10日
若穂商工会館	2月28日 3月5日
川中島町商工会館	3月4日 3月6日
七二会商工会館	3月7日 (午後) 3月11日
豊野町商工会館	2月20日 2月25日 3月6日 3月11日
長野市商工会戸隠支所	2月19日 2月26日 3月5日 3月14日
長野市商工会鬼無里支所	3月4日 3月6日
長野市大岡支所	3月7日 (午前)

※長野市商工会管内の会場です。

長野県 特定(産業別)最低賃金のお知らせ

長野県の最低賃金 ちゃんと確認してる？

令和6年度 長野県最低賃金ポスターデザインコンテスト 長野労働局長賞

松本市 吉澤 佑樹さんの作品

令和6年10月1日から

時間額 **998円**

計量器等製造業 最低賃金 **1,032円** (令和7年1月1日発効)

はん用機械器具等製造業 最低賃金 **1,043円** (令和6年12月12日発効)

最低賃金とは、働くすべての人に賃金の最低額を保障する制度です。

最低賃金に関するお問い合わせは 長野労働基準局へ

賃金引上げ特設ページ 賃金引上げに関する支援情報を見ることができます

中小企業事業承継の皆さんへ 最大600万円 助成金

厚生労働省



戸隠の霧の匂も宜ならむ

お宿富岡 青畝句碑



戸隠支部

高浜虚子に師事した阿波野青畝(あわのせいほ) (1899-1992、奈良県出身)の句です。若かりし頃の青畝が戸隠を訪れた際、霧が深く何も見えず聞こえない中でも、霧の匂いで戸隠を感じたことを表した句です。

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。商工会報なごの第71号をお読みいただきありがとうございます。

今年の干支「巳」は、蛇が脱皮を繰り返しながら成長することから、変化と再生の年とされています。原材料高と人手不足の厳しい経済環境の中ですが、巳年の蛇のように柔軟に環境に適応しながら、変化を恐れずに新たな成長を遂げる年としたいものです。

今号に新春交流会を始め、川中島古戦場まつり、川中島フェスティバルが賑やかに開催された様子を掲載しました。これからの読みやすい誌面づくりに努めてまいります。

本年が皆様にとって希望と挑戦に満ちた素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

